

みずほCustomer Desk Report 2018/10/15号(As of 2018/10/12)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	112.22 AUD/USD
TKY 9:00AM	112.09	1.1590	129.90	1.3234	0.7124
SYD-NY High	112.50	1.1611	130.50	1.3259	0.7140
SYD-NY Low	111.88	1.1535	129.37	1.3148	0.7102
NY 5:00 PM	112.21	1.1559	129.69	1.3152	0.7117
NY DOW	25,339.99	287.16	日本2年債	-0.1200	0.00bp
NASDAQ	7,496.89	167.83	日本10年債	0.1400	0.00bp
S&P	2,767.13	38.76	米国2年債	2.8591	1.27bp
日経平均	22694.66	103.80	米国5年債	3.0209	2.07bp
TOPIX	1702.45	0.59	米国10年債	3.1661	2.10bp
シカゴ日経先物	22,590.00	65.00	独10年債	0.4955	▲2.40bp
ロンドンFT	6,995.91	▲11.02	英10年債	1.6315	▲4.00bp
DAX	11,523.81	▲15.54	豪10年債	2.7425	2.40bp
ハンセン指数	25,801.49	535.12	USDJPY 1M Vol	7.07	▲0.32%
上海総合	2606.9125	23.45	USDJPY 3M Vol	7.22	▲0.26%
NY金	1,222.00	▲5.60	USDJPY 6M Vol	7.82	▲0.14%
WTI	71.34	0.37	USDJPY 1M 25RR	-1.08	Yen Call Over
CRB指数	197.94	1.31	EURJPY 3M Vol	9.13	▲0.03%
ドルインデックス	95.22	0.20	EURJPY 6M Vol	9.60	0.00%

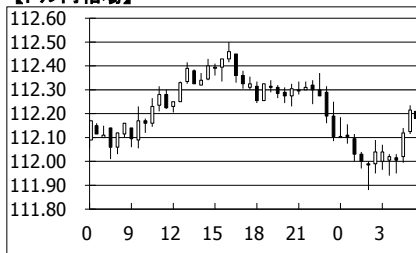
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月12日	11:53	中 貿易収支	9月 \$31.69b	\$19.20b
	11:53	中 輸入/輸出(前年比)	9月 14.3%/14.5%	15.3%/8.2%
	15:00	独 CPI(前月比)・確報	9月 0.4%	0.4%
	15:00	独 CPI(前年比)・確報	9月 2.3%	2.3%
	18:00	欧 鉱工業生産(季調済/前月比)	8月 1.0%	0.5%
	22:30	米 エバンス・シカゴ連銀総裁 講演	「中銀の利上げに疑問を呈することは公平」	
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・速報	10月 99.0	100.5

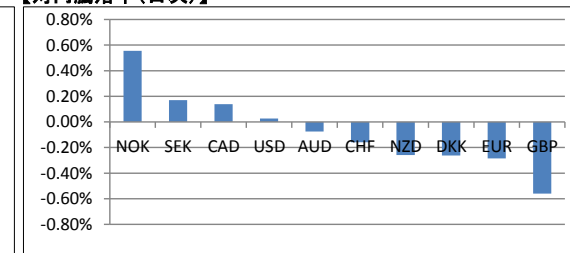
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
10月15日	13:30	日 鉱工業生産(前月比/前年比)・確報	8月 -	0.7%/0.6%
	21:30	米 NY連銀製造業景気指数	10月 20	19
	21:30	米 小売売上高速報(前月比)	9月 0.6%	0.1%
	21:30	米 小売売上高(除自動車/前月比)	9月 0.4%	0.3%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	111.50-112.50	1.1470-1.1600	129.00-130.50

【マーケット・インプレッション】

先週末海外時間のドル円は株式市場の動きに左右される展開となった。連日急落していた米株が下げ止まるかに注目が集まっており、寄付き高く始まったものの、取引時間半ばにかけて上げ幅を縮小すると、ドル円も112円台前半から一時111.90レベルまで下落。しかしその後は、株式市場が終盤にかけて持ち直したこと等を受け、ドル円も再度112円台まで値を戻す展開。本日のドル円は方向感なく推移すると予想。本日はゴトウ日であり、仲値にかけてドル買いが優勢となる可能性はあるものの、13日にムニッシュン米財務長官が日本との新たな通商交渉で『貿易条項』の導入を求めるとしたことはドル円の重石となる可能性があると考えられると共に、FOMC議事録や中国第3四半期GDP等のイベントを控える中、本日のドル円は112円台前半で上値重く推移しそうだ。

東京	2日連続で大幅安となった米国株式市場を背景に朝方からドル円は上値の重い推移が続く中で112.01まで下値を切り下げた後、東京時間のドル円は112.09レベルでオープン。前日比大幅安で寄り付いた日経平均株価が下げ幅を縮小させる動きにドル円はじりじりとレベルを上げる展開。前日大幅安で引けた中国株が持ち直し、前日比プラス圏での堅調推移となると市場の雰囲気も良化、ドル円は112.30付近まで上昇。日経平均株価が引けにかけて前日比プラス圏まで反発すると、ドル円は更に上値の伸びし112.43まで上昇し、そのまま112.43レベルで海外へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場ドル円112円台前半で小動きとなった。112.43レベルでオープン。アジア株に続いて欧州株も買い戻しの動きとなると、リスクオフによる円売りの巻き戻しが散見され、この日の高値となる112.50まで上昇。しかし、その後はムニッシュン米財務長官が元安懸念を表明し、米中貿易摩擦の行方が懸念されると買い戻しの動きは一時的となり、結局112.30レベルでニューヨークへ渡った。本日のドルはBrexit先行き不透明感を背景に軟調推移した。1.3238レベルでオープン。翌週の17-18日に開催されるEU首脳会議で英欧州離脱について協議される予定となっており、その行方を懸念する展開に安値1.3200を付け、1.3208レベルでニューヨークへ渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は、アジア株反発を受けて過去数日のリスク回避の巻き戻しが強まったことから112.50まで回復したが、翌週のEU首脳会議で協議されるBrexit交渉への懸念も漂うなか積極的にリスクをとる動きとはならず、ムニッシュン米財務長官が元安懸念を表明したことなども材料視され112円台前半に下落し、112.30レベルでNYオープン。米株が寄り付き前日比400ドル超の上げとなったことを受け、112.37まで上昇。しかし、米株はすぐに切り直し反落する展開となり、下落幅を拡大。予想を下回る米10月ミシガン大学消費者信頼感指数も下押し材料となり、寄り付きの上げ幅も全て削る展開となったことから、米金利低下と共にドル円は海外時間の安値を下抜け、この日の安値となる111.88まで下落。しかし、米株、米長期金利、ドル円いずれも前日の水準の下抜けに失敗したこと、反発、翌週の決算への期待感もあり、引けにかけて下げ幅を縮小する動きが強まり、ドル円は112.24まで回復して112.21レベルでクローズ。この日エバンス・シカゴ連銀総裁(今年の投票権なし)は、政策金利について「中立水準を50bp上回る水準まで引き上げる必要があるかもしれない」との見解を示したほか、FOMC議事録や中国第3四半期GDP等のイベントを控える中、本日のドル円は112円台前半で上値重く推移しそうだ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:伊藤・鶴田